

2019年8月13日

各 位

西武バス株式会社

当社バスが前扉を開けた状態で走行した事象についてのお詫びとお知らせ

この度、お客さまがご乗車された高速バスが前扉を開けた状態で走行した事象が発生いたしました。当該高速バスにご乗車されたお客さまをはじめ、関係の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今般の事態を厳粛に受け止め、従業員一同、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

本件については関係当局へ報告をおこなっております。なお、本件に伴う事故やお客さまのお怪我はございません。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時

2019年8月7日（水）11時49分頃

2. 当該高速バス

新潟線 18便

万代バスセンター11：00発 池袋駅東口行き 乗車人数3名

3. 発生場所

北陸自動車道 栄パーキングエリア手前付近

4. 発生事象

当該高速バスが北陸自動車道上り線を走行中、前扉が開きました。運転士は、その場で停止することは危険と判断し、減速しながら扉開閉スイッチを操作し扉を閉め、栄パーキングエリアで運行を中止いたしました。

なお、お客さまにお怪我はありませんでしたが、念のため後続の車両に移動していただき、目的地までご乗車いただきました。

5. 原因

直前に停車した三条燕バス停を出発する際、扉開閉スイッチを「閉」に操作し、扉を閉めましたが、スイッチの不具合で「閉」位置まで移行しきらず、「開」との間の位置で止まっておりました。その状態で発進したため、走行中の振動等によりスイッチが「開」になってしまい、扉が開き、今回の事象が発生いたしました。

なお、車両には扉が開いている状態を示すランプが設置されており、正常に機能しておりましたが、確認しておりませんでした。

6. 再発防止策

運転士による扉開閉スイッチの確実な操作、扉開放を示す表示灯の確認の徹底、及び同型車両の点検をおこないます。

以上